



# カウンセラーだより

たじま絆保育園 H30. 9月号

保護者の皆さま、こんにちは。少しずつ過ごしやすくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？クラス担任の先生方がお題目をリレーしてくれたおかげで、ずいぶんネタが溜まりました(笑)。今月号は最後のコラムリレー、「発達障がい」についてです。勉強熱心ですね。



## 発達障がいについて

- 発達障がいの中には見た目では分かりにくく、ただの我がまま、やんちゃ、話が聞けない、お友だちに興味を示さない、という程度で済まされてしまう場合があります。ほとんどの場合、年齢相応な反応ですが、小児神経のDr.や臨床発達を専門にしている心理に相談してみるのも一つです。
- 発達障がいは知能の遅れがある場合とない場合があります。
- 発達障がいの代表例としては、自閉症とAD/HD(注意欠如/多動性障がい)・言語障がいがありますが、小学校にあがればこれにLD(学習障がい)が加わります。他には発達性協調運動障がいがありますが、ケース単体としては稀な疾患です。ただ、運動面の不器用さは他の障がいと併存する 경우가少なくありません。
- 自閉症は知的障がいを伴う場合と伴わない場合があります。
- 知的障がいとは簡単に説明すれば、社会生活を年齢相応に送れない障がい、と考えて頂ければ差し支えありません。
- 自閉症にも特性の差、個人差がありますが、①コミュニケーションの質的な障がい②社会性(集団性や協調性)の障がい③こだわりから成ります。
- AD/HDは、①多動性②衝動性③注意欠如ないし不注意から成りますが、多動衝動性優位型と注意欠如優位型に分かれます。
- 言語障がいは、読んで字の如く言語の遅れを指していますが、近接領域には、発音の不明瞭さから成る構音障がいや小児期発症流暢性障がい(どもり)という障がいもあります。
- 知的発達の障がいは、就学前はだいたい6~8%、小学校では6.5%程度います。ですから、全然珍しい障がいではありません。
- 知的発達の障がいは、早期発見・早期療育が大切です。早い方が発達が伸びて行き、適応能力が上がっていくからです。質的に治りませんが、量的な発達は大いに見込め、本人や周りが違和感を感じていても、社会生活を送っている大人は沢山います。ましてや、歴史上の偉人や鉄人の中には、発達障がいを抱えていた、と云われている人々が沢山います。その人たちの多くは、人との関係は不器用だけれども、人一倍特化した集中力と興味によって、芸術や研究分野で大成した人がほとんどです。

※ なお、便宜上、教科書的に書きましたが、通常わたしは障害よりかは～症あるいは障がいという言葉で、～の遅れではなく、～の緩やかさ、と表現していて、何より障がいうんぬんの前に、一人の人間として見る事を心掛けています。

## 10月のお知らせ

- 原則として、水曜09時～18時に出勤予定です。



**10月号は「ゲーム依存」についてお送り致します！  
ぜひ、ご覧ください！**